

平成30年度日田支部総会の報告 (公社)大分県建築士会日田支部広報部長 秋 和夫

平成30年05月19日午後4時30分より、平成30年度(公社)大分県建築士会日田支部の通常総会が開催されました。野村副支部長により、出席者34名と委任状30名の成立宣言の後、鈴木孝幸支部長の挨拶が行われました。来賓祝辞では、日田市議会の飯田議長より、市議会報告と建築士会の活動に対してお礼のお言葉を頂きました。



(司会進行をする後藤秀美氏)



(挨拶をする飯田市議会議長)

議長には伊藤照幸氏が選出され、総会審議については、第1号議案から第3号議案までの全てが可決されました。第3号議案の役員改選では、支部長に野村晋二氏が選出され、なおかつ、常議員会(支部役員)に笠原健彦氏と友田良氏が新たに加わりました。

議事

第1号議案

平成29年度事業報告及び収支決算承認の件
会計監査報告

第2号議案

平成30年度事業計画案及び収支予算案の件

第3号議案

役員改選 その他



(伊藤照幸議長による議案審議)



(答弁をする鈴木支部長)



(総会会場の様子)

総会終了後には、大原八幡宮宮司 橋本國房氏による「地鎮祭と所作」と題した講演が行われました。

地鎮祭と起工式や安全祈願祭について、また、上棟式の作法や式次第の説明、玉串奉奠の奉納所作、柏手の打ち方等、歴史をふまえて説明をして頂きました。

■ 講演で受けた豆知識は以下の通り

祭場の位置は、敷地のほぼ中央若しくは建物の重要な場所に設置し、南向き又は東向きとする。

祭壇のお供え物、神撰(しんせん)は、神様に捧げるもので、米、酒、魚、海菜、野菜、果物、塩と水を献上する。四季折々の新鮮な物を選ぶことが大切で、祭りの規模によって量が変わるが、三方(供える台)を五台から七台程度を準備する。なお、野菜の中には、臭いの強い物(ニンニクやネギ等)は除くようにする。



(講演をする橋本國房氏)

■ 式次第の知識

- 一、開式の辞
- 一、修祓(しゅばつ)
神職が神前に於いて祓詞(はらいことば)を奏上し、大麻(おおぬさ)ですべてを祓い清める。
- 一、降神(こうしん)
神籬に神様をお招きする儀式。
- 一、献饌(けんせん)
神前にお供え物をする儀式。
- 一、祝詞奏上(のりとそうじょう)
神職が神前に工事の安全を願って祝詞を奏上する。
- 一、清祓(きよめばらい)
敷地の四隅と中央を祓い清め、供え物して土地の安全を願う。
- 一、地鎮の儀(じちんのぎ)
施主と施工者が初めてその土地に手をつける意味であり、一般的には、施主が刈初し、施工者が穿初を行う。
- 一、玉串奉奠(たまぐしほうてん)
玉串は、工事の安全を祈って、その心を神に捧げるもの。
- 一、撤饌(てっせん)
お供え物を下げる儀式。
- 一、昇神(しょうしん)
神籬にお招きした神様にお帰り頂く儀式。

引き続き、講演者の橋本國房氏と、賛助会員を含めた 35 名で懇親会を開催しました。事業部長の後藤秀美氏の司会で、本会員でもある財津幹夫市議会議員による乾杯で始まり、今後の地域振興策で、熱い議論を交わしながら、親交を深めました。



(賛助会員との懇親会の様子)